No.

エクアドル・ガラパゴス諸島海洋環境保全計画
実施協議調査団報告書

平成15年12月

独立行政法人　国際協力機構
森林・自然環境協力部

自然水
JR
03−033

序　文

ダーウィンの進化論、種の起源を生んだ生物学的にも有名なガラパゴス諸島沿岸部において、平成 13 年 1 月にタンカー「ジェシカ号」が座礁して油の流出が起こりました。この事故を受けて、我が国は同年 2 月に要請背景調査団、4 月に短期専門家を派遣し、ガラパゴス諸島の生態系保全と調査研究のニーズを確認しました。

その後、平成 13 年 7 月と翌年 3 月の短期調査にて、ガラパゴス諸島の住民や政府関係者と PCM ワークショップを開催し、問題・目的分析を行い、協力素案を作成しました。さらに、平成 14 年 11 月の事前評価調査により、短期調査での協議事項を整理して、実施機関となるガラパゴス国立公園管理局（DGNP）とともに新 PDM 案（プロジェクト・デザイン・マトリックス）案と新 P/O（プラン・オブ・オペレーション）案の内容を協議し、基本的な協力計画について合意を得ました。

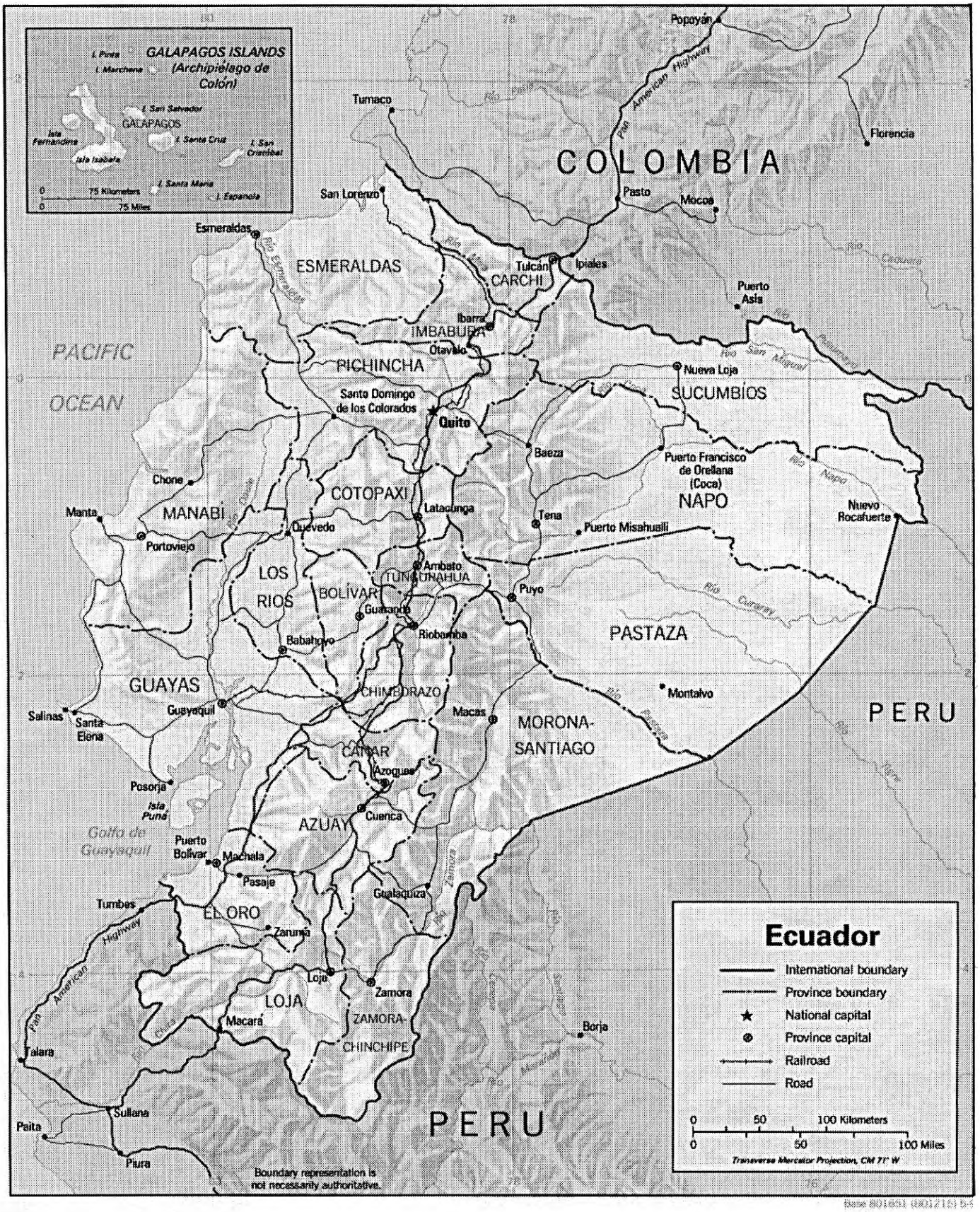
上記の調査結果を踏まえて、平成 15 年 8 月の実施協議調査では、日本側・エクアドル側双方が協力する内容、協力範囲、責任分担等の詳細について最終的な確認を行なった上で、協議結果を討議議事録（R/D）にとりまとめました。

本報告書は、平成 14 年 3 月の短期調査から平成 15 年 8 月の実施協議調査までの調査結果をとりまとめたものです。本報告書が今後の協力計画の円滑な実施に資するとともに、両国の友好・親善のさらなる発展に寄与することを期待しております。

最後に、本調査にご協力とご支援をいただいた関係者の皆様に対し、心より感謝を申し上げるとともに、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 15 年 12 月

独立行政法人　国際協力機構
理事　鈴木　信毅


GALAPAGOS ISLANDS
(Archipiélago de Colón)
I. Pinta
I. Marchena
I. San Salvador
GALAPAGOS
Isla Fernandina
I. Santa Cruz
I. San Cristóbal
Isla Isabela
I. Santa Maria
I. Española
0 75 Kilometers
0 75 Miles
COLOMBIA
PERU
PACIFIC OCEAN
Popayán
Pan American Highway
Tumaco
Florencia
Pasto
Mocoa
San Lorenzo
Esmeraldas
ESMERALDAS
Tulcán
Ipiales
CARCHI
Puerto Asís
Ibarra
IMBABURA
Otavalo
PICHINCHA
Nueva Loja
SUCUMBÍOS
Santo Domingo de los Colorados
Quito
Baeza
Puerto Francisco de Orellana (Coca)
NAPO
Nuevo Rocafuerte
Chone
MANABÍ
Manta
Portoviejo
COTOPAXI
Latacunga
Quevedo
Tena
Puerto Misahuallí
LOS RIOS
Ambato
TUNGURAHUA
BOLÍVAR
Guaranda
Riobamba
Pastaza
PASTAZA
Babahoyo
GUAYAS
Guayaquil
CHIMBORAZO
Montalvo
Salinas
Santa Elena
Macas
MORONA-SANTIAGO
CAÑAR
Azogues
Posorja
Isla Puná
Cuenca
AZUAY
Golfo de Guayaquil
Puerto Bolívar
Machala
Pasaje
Gualaquiza
Tumbes
EL ORO
Zaruma
Loja
Zamora
LOJA
Macará
ZAMORA-CHINCHIPE
Borja
Talara
Sullana
Paita
Piura
Ecuador
International boundary
Province boundary
National capital
Province capital
Railroad
Road
0 50 100 Kilometers
0 50 100 Miles
Transverse Mercator Projection, CM 71° W
Boundary representation is not necessarily authoritative.